

錦江に生きる

じゅうろくにん目

かみづる
上鶴
てつろう
鉄郎さん
(木場自治会)

▼工作中的の眼差しは
真剣そのもの



▲少年野球リトルファイターズの子も達と



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていきこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第16回目は、木場自治会の上鶴鉄郎さんです。

子どもの頃から子どもが大好きだったという上鶴鉄郎さんは、大学も児童福祉を専攻するほどの子ども好き。馬場地区公民館の子ども育成部長に少年野球の監督と365日子ども達と接している。

鉄郎さんの存在は、子ども達には優しいけど怖いおじちゃん。いや、怖いけど優しいおじちゃんに映るようで、そのところを鉄郎さんに尋ねると、「子ども達にとって大人は怖いだけでも優しいだけでもダメ。いけないことをしたら真剣に叱る。でも、追い詰めるのではなく、どこかに逃げ道を作ってあげる。それから、褒める・叱るの基準を自分で練引きしなければいけない。」と自分に言い聞かせるように話した。続けて、「今の子ども達はゲームばかりで外で走り回ることが少ない。友達といってもゲームに夢中で一人であるのと同じ状況が多い、だから子ども会や野球などで団体行動を取らせるのは重要なことだ。」と語り。

鉄郎さんは、趣味も多くパソコン暦は22年にもなり公民館講座の講師もしている。また、釣り吉としても有名で自家用船舶も所有しているほど入れ込んでいる。鉄郎さん曰く、何でも一度始めたらトコトンのめり込んでいくタイプでその道を究めないと気がすまないらしい。でも、選手として所属している壮年野球チームでは野球じゃなく「のんかた」を究める方に向かっていくらしい。それが関係してかせずか、最近メタバが気になり10月の人間ドックが今から心配でたまらないと少し丸くなったお腹をさすった。

最後に一言ください。とお願ひしたら、「月並みな表現だが、子どもは地域の宝、子ども達を元気にして地域を盛り上げていきたい。」と子ども好きの鉄郎さんらしい言葉が返ってきた。そして、「実は、少年野球や地域活動で家を空けることが多いので家族には本当に申し訳なく思っている。妻には改めてごめんなさい、そしてありがとうございます。」と真剣な眼差しで話した。

鉄郎さんは、家族が、子ども達が、地域が大好きなナイスガイだった。

錦江町

おもいで写真館

昭和35年1月7日
柴立部落(現 柴立自治会)の七草祝い

▶ 写真のご協力をお願いします。◀

「錦江町思ひ出写真館」に掲載する写真を募集します。

撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。

お借りした写真は責任を持ってお返しします。



◀ 最近ではあまり自治会単位でのお祝いを見かけなくなりました。少子化が原因でしょうか？